

2018年7月25日

## 2017年の海外旅行マーケットの実態 『JTB REPORT 2018 日本人海外旅行のすべて』を発行

- **海外旅行需要の回復が進んだ2017年**
  - ・2017年の旅行者数は1,789万人。円安・韓国ブームだった2012年に迫る歴代2位
  - ・訪日旅行の伸びでLCCを含む航空路線、座席数が増えたことも追い風に
- **“若者の海外旅行離れ”は過去のものに**
  - ・20代女性が需要回復をリード
  - ・若年層の間で海外旅行に対する関心が復活
  - ・ネットを通じた旅行手配や現地情報の収集が容易になるなど、海外旅行の敷居が低くなってきた
- **海外旅行者の世代交代がじわり進む**
  - ・団塊世代の旅行者はこの5年間で約3割減
  - ・海外旅行者の若年層比率が上昇し、マーケットの“若返り”も



2018年

JTB Corp.  
JTB Tourism Research & Consulting Co.

株式会社JTB（東京都品川区、代表取締役社長 高橋広行）は、2017年の日本人海外旅行マーケットの実態をまとめた「JTB REPORT 2018 日本人海外旅行のすべて」を発行しました。1988年以来、今年で31回目の発行となるこのレポートは、独自のアンケート調査や各関係機関の統計資料に基づき、株式会社JTB総合研究所（東京都港区、代表取締役社長 野澤肇）が海外旅行マーケットの動向、構造を分析し、編集・発行しており、7月27日（金）よりJTB総合研究所のホームページで販売します。

今回のレポートのポイントは次の通りです。

## 1. 海外旅行需要の回復が進んだ 2017 年

### 2017 年の旅行者数は円安・韓国ブームだった 2012 年に迫る歴代 2 位。訪日旅行の伸びで LCC を含む航空路線、座席数が増えたことも追い風に

2017 年の海外旅行者数は前年に続いて増加し、円安・韓国ブームで過去最高の旅行者数を記録した 2012 年の 1,849 万人に次ぐ歴代 2 位の 1,789 万人であった。訪日旅行の伸びで LCC を含む航空路線、座席数の増加が続いていることも需要の追い風になったと思われる。

#### 【海外旅行者数の長期的な推移】



資料：法務省「出入国管理統計」

## 2. “若者の海外旅行離れ”は過去のものに

### 20 代女性が需要回復をリード。若年層の間で海外旅行に対する関心が復活。インターネットを通じた旅行の手配や現地情報の収集が容易になり海外旅行の敷居が低くなってきた

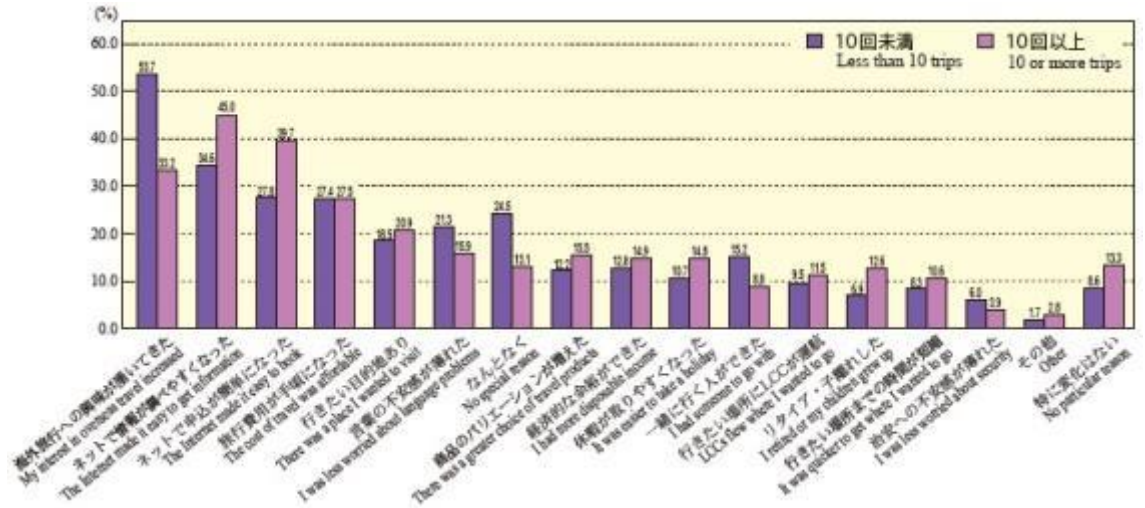
2016 年以降の需要回復局面をリードしたのは 20 代女性であった。ビジネス目的の旅行者が多い 40・50 代男性を除けば 20 代女性の旅行者が最も多く、2017 年の伸び率も前年比 9.1% 増と全性年代の中でトップクラスである。伸び率だけみると 70 歳以上が高いがこれには高齢化で 70 歳以上の人口が増えていることが大きく影響している。この数年を振り返ると、一時期、海外におけるテロの連続を懸念した旅行志向の弱まりがみられた時期もあった。しかし現時点の旅行市場は海外旅行に対するポジティブな姿勢を取り戻しつつあり、特に若年層でこの傾向が顕著となっている。インターネットを通じた旅行の手配や現地情報の収集が容易になったことで海外旅行の敷居が低くなってきているようである。

【性・年代別海外旅行者数(2017年)】



資料：法務省「出入国管理統計」

【海外旅行の行きやすさや感じ方の変化】



資料：株式会社 JTB 総合研究所「海外旅行実態調査」

(注) 2017年1年間に海外旅行に行った者を対象に2018年1～2月に実施した調査にもとづく。  
質問文は「海外旅行に関連して最近行きやすさや感じ方に何か変化がありましたか」。

【「海外旅行への興味が湧いてきた」の回答割合】



資料：株式会社 JTB 総合研究所「海外旅行実態調査」

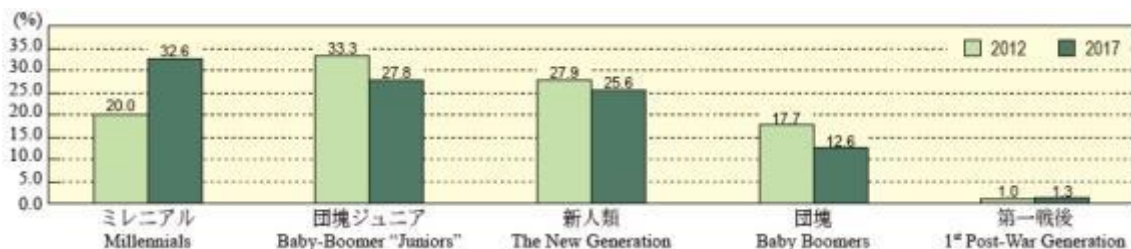
(注) 2017 年 1 年間に海外旅行に行った者を対象に 2018 年 1～2 月に実施した調査にもとづく。  
質問文は「海外旅行に関連して最近行きやすさや感じ方に何か変化がありましたか」。

### 3. 海外旅行者の世代交代がじわり進む

#### 団塊世代の旅行者はこの 5 年間で約 3 割減。海外旅行者の若年層比率が上昇しマーケットが“若返り”

海外旅行は国内旅行に比べるとシニア層の比率が低く、50 代を過ぎると徐々に旅行者数が減少していく。団塊世代においてはリタイア前後を機とする一時的な旅行者数増加の時期も終わりに近づいており、2012 年と比較した旅行者数は約 3 割減少したものと推定される。このため 2016 年以降の需要回復局面で 60 代の旅行者数の増え方が他の年代に比べややスローペースとなっている。一方、若年層の中でも特に伸びているのが 10 代後半から 20 代前半のミレニアル層である。団塊世代の旅行者が減少期に差し掛かる一方で若いミレニアル層が増加することで、海外旅行のマーケットは世代交代が進みつつあるといえるだろう。

【世代別にみた観光目的の旅行者数構成比】

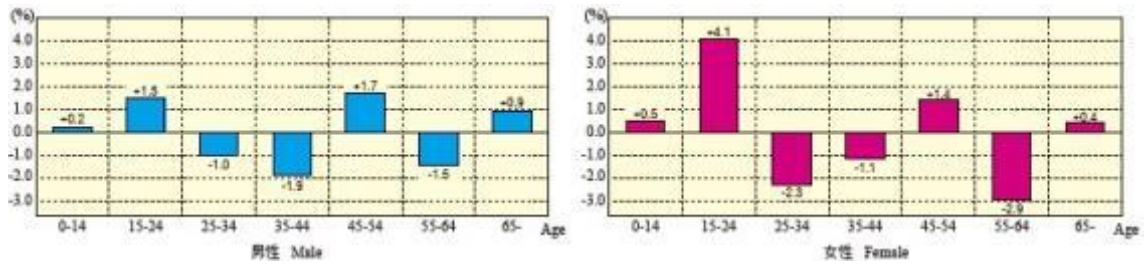


資料：株式会社 J T B 総合研究所「海外旅行実態調査」

注：東京都、愛知県、大阪府居住者を対象とした集計値

各世代の定義は、第一戦後(1929~1943 年生)、団塊(1944~1953 年生)、新人類(1954~1968 年生)、団塊ジュニア(1969~1983 年生)、ミレニアル(1984 年生生まれ以降)

【年代別旅行者数構成比の変化（2012/2017年）】



資料：法務省「出入国管理統計」

(注) ビジネスなど観光目的以外の旅行者を含む

『JTB REPORT 2018 日本人海外旅行のすべて』

監修 株式会社 JTB  
 編集・発行・販売 株式会社 JTB 総合研究所  
 〒105-0014 東京都港区芝 3-23-1  
 セレスティン芝三井ビルディング 12 階  
 TEL: 03-6722-0700 FAX: 03-6722-0753  
 定価 12,960 円 (本体 12,000 円)

<問い合わせ先>

報道関係の皆様からの問い合わせ先

JTB 総合研究所 TEL : 03-6722-0759

書籍販売についての問い合わせ先

JTB 総合研究所 TEL : 03-6722-0750